

## 平成27年度 第1回甲賀市文化のまちづくり審議会 概要報告

1. 開催日時 平成27年12月21日(月) 午後2時から午後3時40分まで

2. 開催場所 甲南庁舎2階大会議室

3. 議 題

\*報告事項

- ・甲賀市文化振興事業の概要について

\*協議事項

- ・会長、副会長の選任について
- ・会議内容等の公開非公開の決定について
- ・甲賀市文化のまちづくり計画の見直し概要について

4. 公開又は非公開の別 公開

5. 出席者

委員 高須美代子委員、田代圭介委員、山之内洋委員、福井眞里委員、  
阪上きよ子委員、瀬古祐嗣委員、清水雅代委員、木村孝英委員、  
早川弘志委員、宇田康雄委員、雲林院ユカリ委員 以上11名

事務局 山本教育長(途中退席)  
安田教育部長(途中退席)、福山次長  
文化スポーツ振興課 黒田課長、杉本課長補佐、玉木係長  
雲林院主査

6. 傍聴者数 0人

7. 協 議

出席委員数の報告

出席委員は11名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市文化のまちづくり審議会規則第3条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

- ・甲賀市文化振興事業の概要について

事務局 P4～5 資料に基づき事務局説明

- ・会長、副会長の選任について

甲賀市文化のまちづくり審議会規則第2条第1項に従い、審議会委員の互選により審議

会の会長、副会長を選任

その結果、会長に宇田康雄委員、副会長に雲林院ユカリ委員を選出

・会議内容等の公開非公開の決定について

事務局 P 6 資料に基づき事務局説明  
公開基準を定め、会議ごとに非公開案件を決定する

宇田会長 公開基準どおり公開していいと思うがどうか。賛成の方は挙手願います。

※ 全員挙手

宇田会長 非公開案件については事務局、委員皆様と相談の上決定していく。広報には掲載されるのか。

事務局 掲載されません。ホームページのみです。

・甲賀市文化のまちづくり計画の見直し概要について

宇田会長 平成22年以降審議会が開催されていないのか。

事務局 平成24年6月以降については開催されていない。

宇田会長 中断していたということなのか。

事務局 そうです。

宇田会長 それでは中間見直しの概要について事務局より説明願います。

事務局 P 7 資料に基づき事務局説明

宇田会長 国、県の上位団体からの基本方針を受けて見直すという面もあるか。

事務局 上位の計画の変更・改正を盛り込んでいただき、見直すというのがねらいである。

宇田会長 まちづくり計画の見直しということですが、皆さまの意見を聞きたいと思います。まず前会長の木村委員どうでしょうか。

木村委員 当時は各委員がそれぞれ文化に対する考えをまとめ本計画の骨組みを作った。素案は事務局で作られていたが、構成から文言の整理に至るまで委員で手分けして行った。その当時から思っていたのだが本計画が施策にどれだけ反映されているのか、これからされていくのかが問題というか委員全てが施策に反映されていくことを願っていたと記憶しております。今回の素案についても事務局から示していただくとと思うが、時代の変化に照らし合わせなが

ら当然足りない部分は補っていかなければならないわけですが、その中でどれだけ達成されたのか、実行に移されたのかを踏まえながら変えていかなければ作っただけのものになる。そのあたりが懸念されるので事務局と十分相談しながら進めていかなければならない。

一番難しかったことは文化というものをどう捉えるか多様な意見がありますので、新しい委員の中でも共通理解を図っていかなければならないと思う。示された素案を見直し終わっていくのか、もう一度原点に戻り委員の共通理解を深めて新しいものを作っていくのか、スケジュールをもう一度考えていく必要があると思う。そうでなければそれぞれの立場で来て頂いているのに消化不良を起こしかねない。前回本計画を作ったときは年間4回かそれ以上審議を行った。

その辺を会長と事務局で詰めて頂くことと各委員に本計画を読んでいただき、どうあるべきかをフリートークし、それをもとに素案を作成していただくという手立てが1段階いるのではないかと思う。

宇田会長 私も幅広い文化についてこのような短期間に本当にできるのか、アンケート等データも取られているところを見ると時間的な部分で不安に思う。阪上委員この件についてどう思われますか。

阪上委員 本計画策定時には本当に苦労したが、私も本計画が施策にどのように反映されたのかは実感としてあまりない。本計画を市民に広く知ってもらうためにはどうすればよいかについて繰り返し議論した覚えがある。

高須委員 計画は作ることが目的ではない。活用することが大切だと思う。各委員の文化に対する認識の違い（野外活動も文化に入るのではないかな等）の議論から入った。今回もいろいろな立場の方が集まっておられるので以前出た意見を聞きながら新たに見直しをしていかなければならない。

宇田会長 今3人の意見を聞かせていただき責任を重く感じている。

事務局 話を整理させていただきたいのですが今回はあくまでも10年の本計画の中間見直しということで上位計画（総合計画等）の変更に伴っての見直しと・・・

宇田会長 その場合は当然事務局から素案を示していただけるのか。

事務局 見直しが必要であろう部分を反映したもので提案させていただきます。それと同時に今までどういった施策で反映されたのかといった点がもう一点ありますが、一度整理をさせていただきこれはできている、これはできていない、こうすればできるといった素案を出し審議いただきます。大きく2つの点かと思っております。あくまで10年間の中間として文言等の見直しをまず行っていただきたいというのがねらいです。

宇田会長 木村委員そういうことですがどうでしょう。

木村委員 それでいいと思う。しかし、新たに委員になられた方には新たに盛り込み

たい部分があろうかと思うのでそういった部分は盛り込んでいかなければならないと思う。

宇田会長 次回第2回目の審議会までに素案について検討し、審議を行うということによろしいでしょうか。

事務局 そうです。

宇田会長 ということは1月末ごろまでには素案を各委員に提出いただかないと検討できないということですね。

事務局 そうです。できるだけ短期間で見直しを終え、次回、平成32年以降の原案作成に取り組んでいかなければならないと考えております。

田代委員 私も22年から24年委員をさせていただいたが、計画を見直すことが目的なのかどうなのかわからなくなった。以前同じような質問をさせていただいたがはっきりとした答えを頂けなかった。審議会の目的はこういった計画を作ることが目的ではなく、甲賀市の文化をよくしていくためにはどうすべきか、どう発展させるのか、どういった欠陥があり改善しなければならないのか、他の地区と比べてどうなのかといった議論がなされると思い参加したが、そういう目的ではなく先ほどのような事業報告をされて終わってしまった。

策定された計画の内容は非常に吟味されており、立派なものであるが、策定に時間と労力をかけるよりもポイントを絞った見直しを行うほうが良いと思う。木村前会長がおっしゃったような文化とは何かといった議論を行うと限らない議論になる。そのようなところに労力をかける必要はなく、こういったものはシンプルで良いと思う。私は本来の仕事がしたいと思っている。

宇田会長 立派な計画が策定されているが本当に活用されているのかといった部分もある。もっとシンプルで良いのではないかという意見がありますがどうでしょうか。初めての方もおられますので順番にお話をきかせていただきたいと思っております。山之内さんどうでしょう。

山之内委員 この審議会は10年間の本計画における5年目の中間の見直しと捉えており、この審議会で新たな計画を策定するものだとは思っておりません。策定以降5年間の活動の中で、施策にどれだけ反映されてきたのか、当時計画に盛り込んだが今の時代に合っていないものがあるのであれば、そこに労力を充てるよりは違うことに充てていく方がよいのではないかとといった計画の進捗状況の確認であるとか、次の計画に残していかなければならないものを検討していく場がこの審議会であると思っております。文化とは何かといったことを議論する場ではないと思っております。

宇田会長 福井委員どうでしょうか

福井委員 この計画をもとに実行されてきた文化活動がどれだけ施策に反映されてきたのか、市民の方の反響がよかったのか悪かったのかそういった点を現場の

方がよく知っておられると思いますので、それらのデータをもとに作られた改定案に対し意見を出す場だと感じております。また、この計画を100%実行するということは現実的に不可能だと思いますので、できるだけ100%に近づけるためにどのような事業を実施すべきかといった提案に対し審議するものだと思っております。加えて事務局に対してですが、事前にこの資料を送っていただければよかったですと思います。この会議でこれだけの資料に目を通すのは不可能だと思いますので。

宇田会長 瀬古委員どうでしょうか。

瀬古委員 文化のまちづくりに対してのキャッチフレーズがあれば方向性が見出せるのではないかと思う。文化といっても文化財、芸術などなど幅が広いので具体的なものが見えてこないとどうしていけばよいのかわからない。また、甲賀は忍者以外にも魅力ある地であるが、全国的にあまり知られていないので甲賀の魅力をもっと全国に発信し、活気あるまちにしていくということも大事なのではないかと思えます。

宇田会長 清水委員どうでしょうか。

清水委員 まだ中身について詳しくわからないので何とも言えないが、実際に現場で活動している側の声を届けられればと思っております。

宇田会長 早川委員どうでしょうか。

早川委員 自分がかかわっている分野について協力できればなと思っております。

宇田会長 雲林院委員どうでしょうか。

雲林院副会長 大変すばらしい計画だとは思いますが、誰のために何が目的なのかがわかりにくいので、キャッチフレーズなど方向性を勉強させていただきたいと思えます。

宇田会長 見直しについてどのような内容で進められるのか事務局から説明願います。

事務局 皆さまの意見をいただきながら中間見直しをさせていただくのですが、これに加えまして文化とは大変大きな器でございます。その中のコバとして図書館協議会、文化財にもそういった機関がございますのでそこでの意見を反映していただきたいと思えます。それらを踏まえ大きなキャッチフレーズを1本通していただくというのがねらいであります。中間見直しということで大きな変更はできませんが、次の計画につなげられるような提案をいただければと思っております。

事務局 皆さんからいただいた意見をもとに今後の進め方について考えていきたいと思えます。また、次回までに計画に対しての事業の進捗状況等を示させていただきます。

宇田会長           これは最終的に議会にかかるのですか。

事務局            中間の見直しですのでかかりません。

田代委員           もう一度質問しますが私たちは何をすればいいのですか。この計画を作るのですか。作った後何をすればよいのですか。どうしてもわかりません。

事務局            この計画を見直すのも1つですが市が、行っている文化振興事業に対して色々ご意見をいただきたいと思っております。計画にはあがっているが現状はこうであるとかご意見をいただければ今後の事業に反映させていただきたいと思っております。

事務局            必然的に見直さなければならぬ部分については事務局で示しますのでご審議いただきたいと思えます。それとあわせていただいた内容の進捗状況を示させていただきますので、それに対する検証も行っていただくのがねらいであります。

宇田会長           ただ今の回答を受けて何かご意見があればお願いいたします。次回は来年の2月ごろでいいんですね。

事務局            来年の2月ごろを予定しています。

宇田会長           この資料は今日初めてお渡しされたのですか。

事務局            今回は見直しの概要を説明させていただいてスケジュールを知っていただくということで、今回この資料を持ち帰って読んでいただくということで当日配布となりました。

宇田会長           次回からは事前に資料を送付いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局            この部分はいい、悪いといった意見を出していただき、事務局の意見と突き合わしながら進めていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

宇田会長           それでは皆さまよろしいでしょうか。

                  ※ はい

宇田会長           その他、事務局何かありますか。

事務局            事務局としては以上になりますので、委員の方で何かありましたらどうぞ。

宇田会長           会議については平日の2時からということですがよろしいでしょうか。

瀬古委員           わかるのであれば次回の日程を今決めてはどうでしょうか。

事務局 次回については改めて連絡させていただきます。

宇田会長 他にどうでしょうか

宇田会長 ないようですので最後に雲林院副会長にあいさついただきたいと思います。

雲林院副会長 これから文化のまちづくりについてご意見をいただきながら勉強させていただきたいと思います。それではこれで文化のまちづくり審議会を閉会させていただきます。